

くぬぎ山地区自然再生事業実施計画書

目 次 (案)

第1章 自然再生事業の対象となる区域及びその内容

- 1 - 1 くぬぎ山地区自然再生全体構想の概要
- 1 - 2 くぬぎ山地区自然再生事業の対象となる区域

第2章 くぬぎ山地区自然再生事業実施計画

- 2 - 1 くぬぎ山地区保全計画
 - 2 - 1 - 1 緑地保全制度の導入
 - 2 - 1 - 2 土地所有者が平地林を維持していけるしくみの構築
 - 2 - 1 - 3 トラスト等による平地林の保全
- 2 - 2 くぬぎ山地区再生計画
 - 2 - 2 - 1 改変地における植生復元
 - 2 - 2 - 2 施設移転跡地における自然再生
- 2 - 3 くぬぎ山地区維持管理計画
 - 2 - 3 - 1 平地林管理計画の策定、平地林管理の新たなしくみの構築
 - 2 - 3 - 2 農とのつながりの再生
 - 2 - 3 - 3 ゴミなどの不法投棄への対処
- 2 - 4 くぬぎ山地区活用計画
 - 2 - 4 - 1 環境学習の場としての活用方式の検討
 - 2 - 4 - 2 レクリエーション利用の方策に関する検討
 - 2 - 4 - 3 森林資源の有効活用

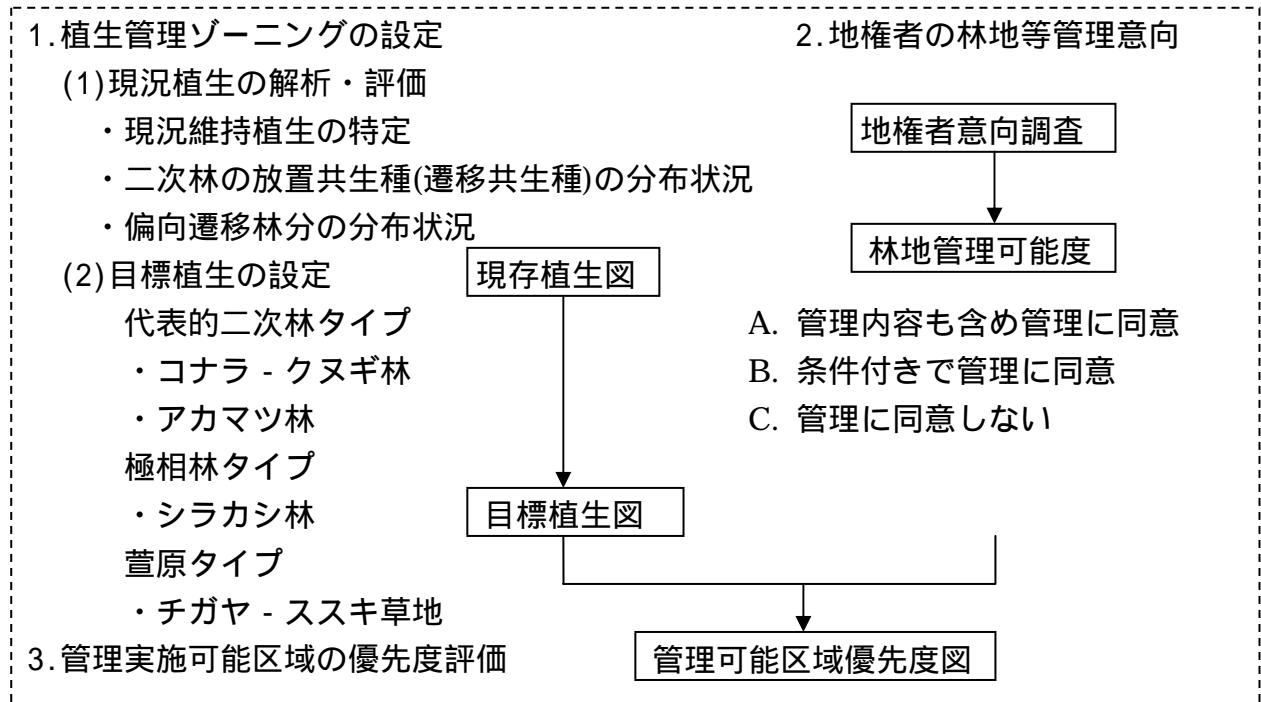
第3章 くぬぎ山地区自然再生事業区域の周辺地域の自然環境との関係 並びに自然環境の保全の意義及び効果

第4章 くぬぎ山地区自然再生事業実施計画の役割分担と実施体制

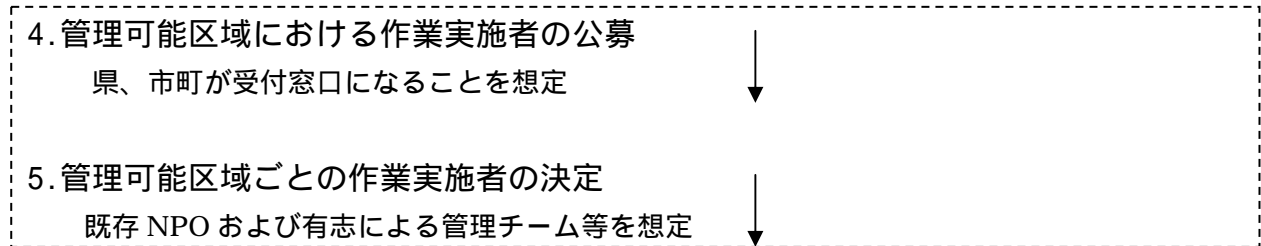
くぬぎ山地区 平地林管理計画の策定と平地林管理の新たなしくみの構築

全体フレーム・フロー

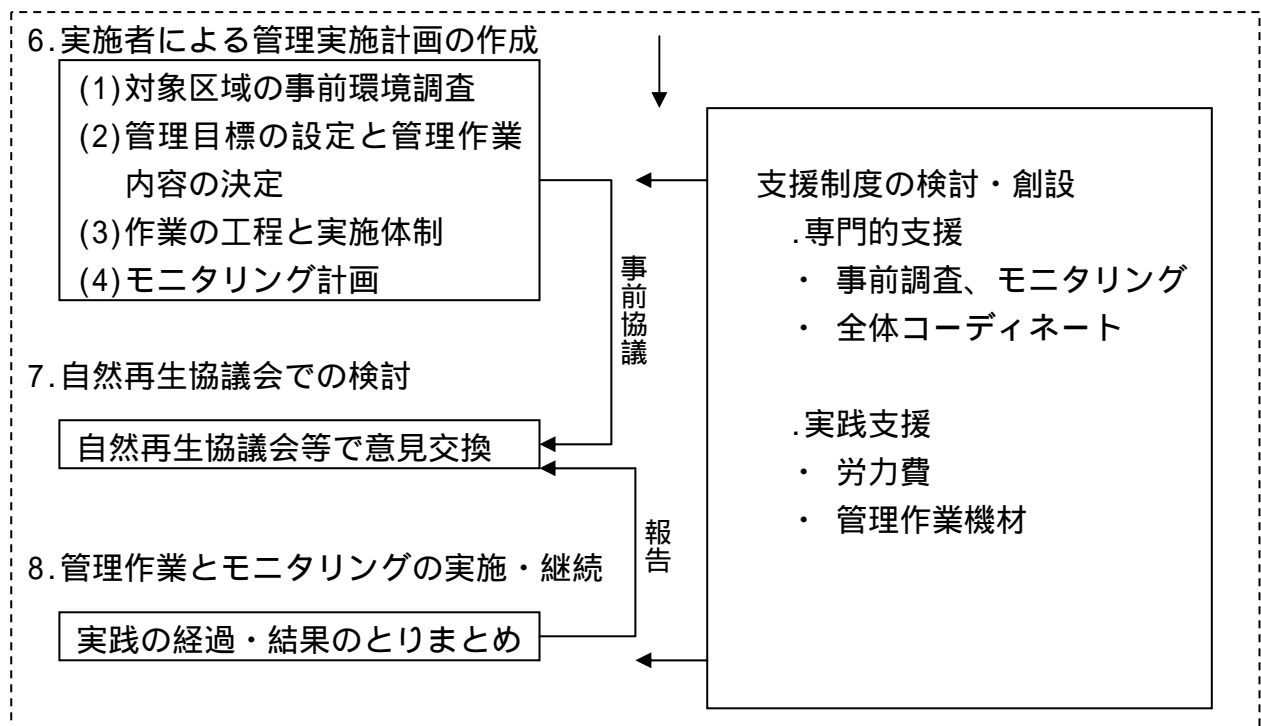
A. くぬぎ山地区 植生管理計画の策定



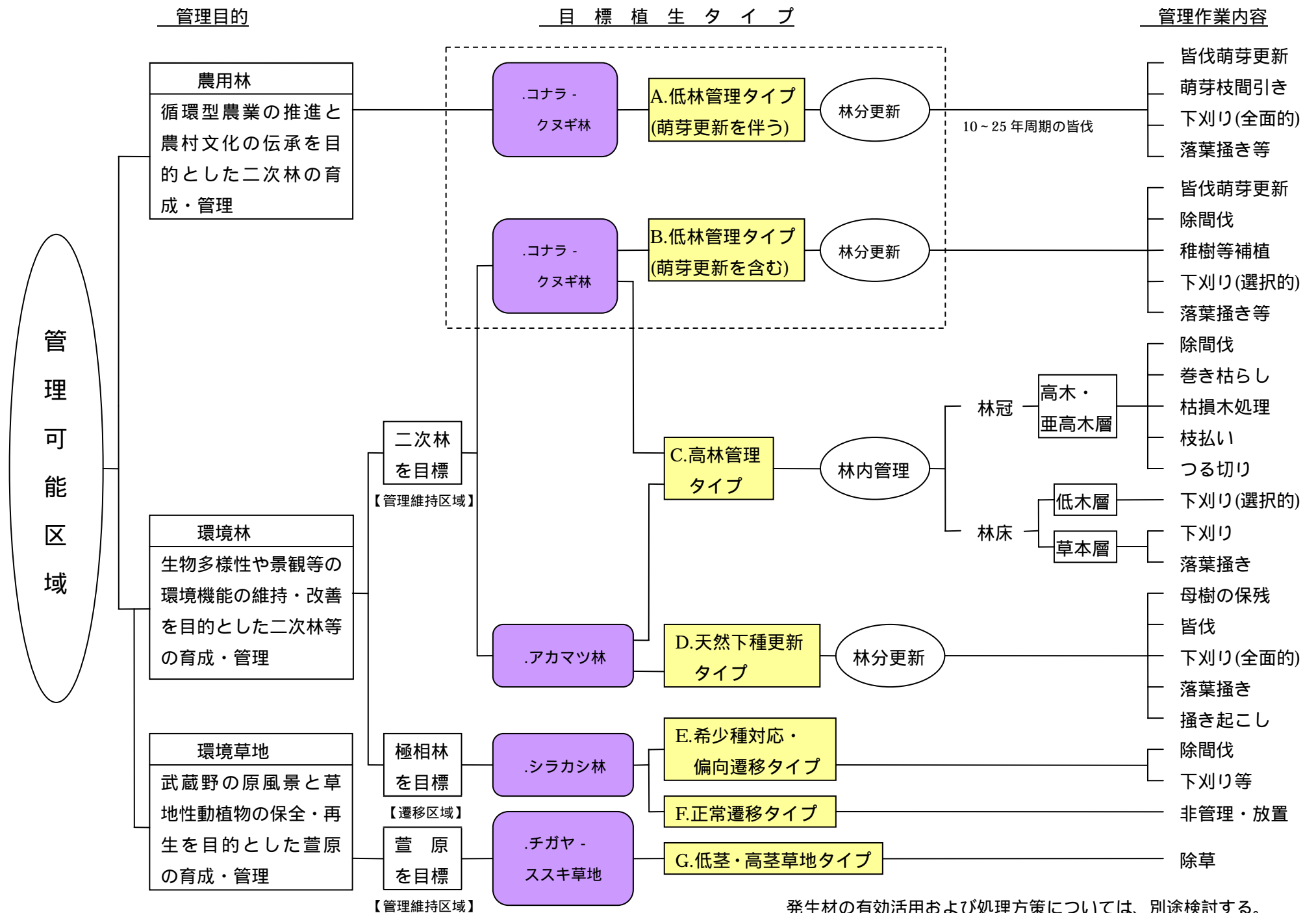
B. 管理作業ボランティアの公募と実施者の決定



C. 対象区域ごとの管理実施計画の作成と管理作業の実施

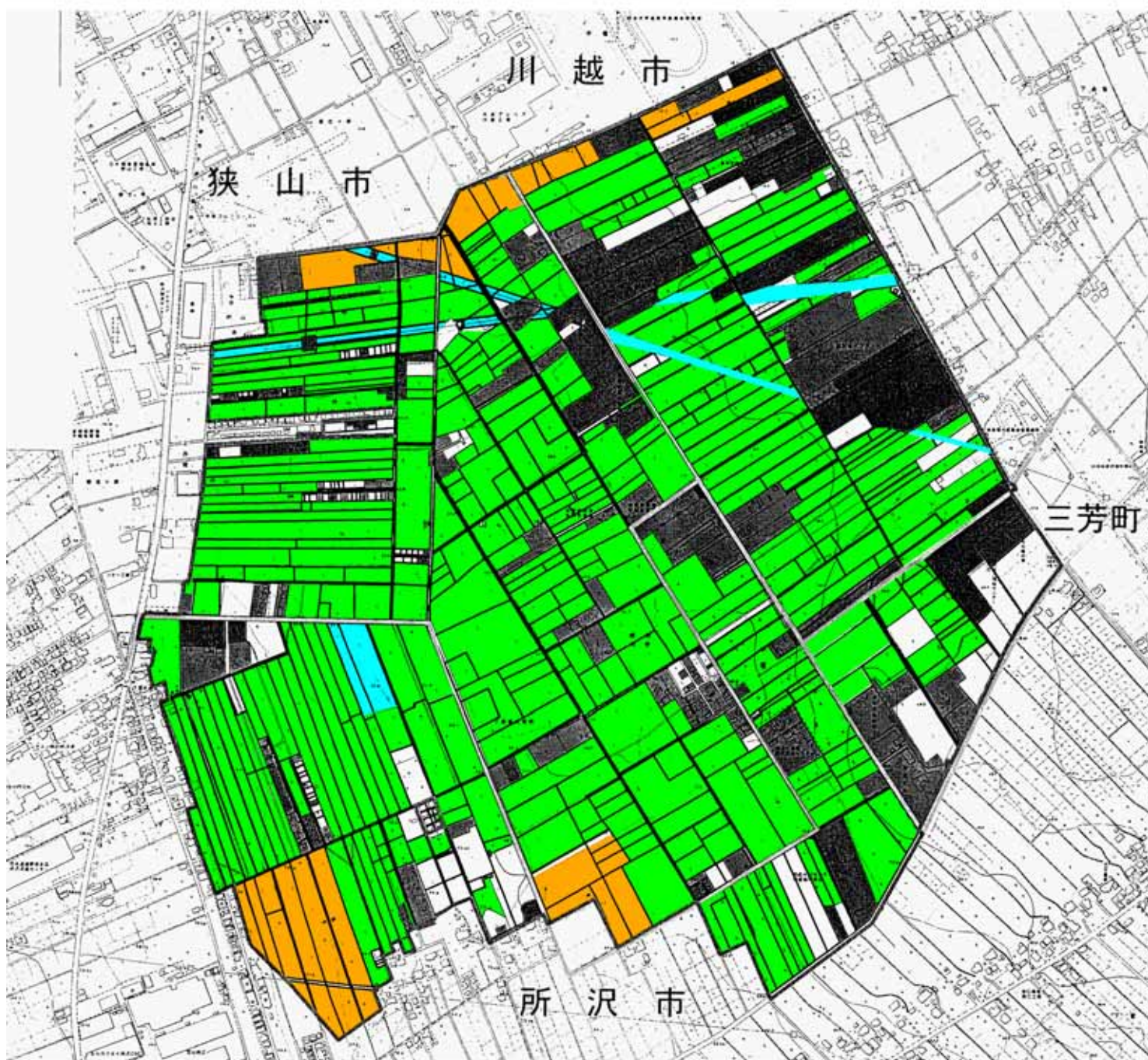


くぬぎ山地区における植生管理の区分 概念図(案)



発生材の有効活用および処理方策については、別途検討する。

くぬぎ山地区 植生管理ゾーニング 概略イメージ図



1 二次林ゾーン (管理維持区域)

コナラ-クヌギ林	農用林目的	低林管理タイプ
	環境林目的	低林管理タイプ / 高林管理タイプ
アカマツ林	環境林目的	天然下種更新タイプ / 高林管理タイプ

2 萱原ゾーン (管理維持区域)

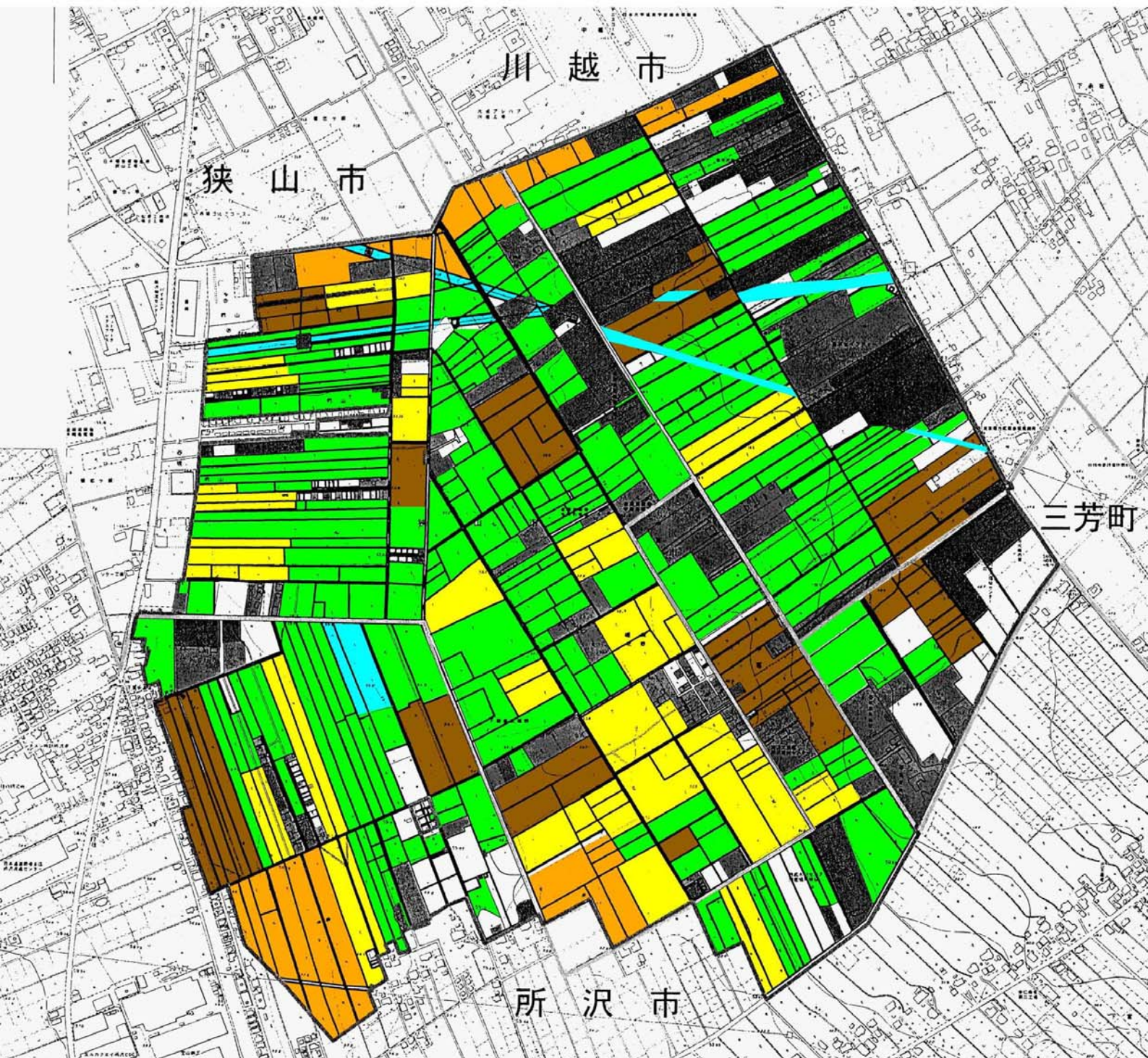
チガヤ-ススキ草地	低茎草地タイプ / 高茎草地タイプ
-----------	-------------------

3 極相林ゾーン (遷移促進区域)

シラカシ林	希少種等対応タイプ / 正常遷移タイプ
-------	---------------------



くぬぎ山地区 植生管理ゾーニング・イメージ図



- | | | |
|-----|------------------|---------------|
| I | コナラ-クヌギ林 (農用林目的) | A. 低林管理タイプ |
| I | コナラ-クヌギ林 (環境林目的) | B. 低林管理タイプ |
| II | アカマツ林 | C. 高林管理タイプ |
| III | シラカシ林 | D. 天然下種更新タイプ |
| IV | チガヤ-ススキ草地 | E. 希少種対応タイプ |
| | | F. 正常遷移タイプ |
| | | G. 低茎・高茎草地タイプ |

